

5 平成18年度 横浜市立図書館の目標と振り返り

この「目標」は、平成18年度教育委員会運営方針に基づき、中央図書館と17の地域図書館が進める事業の内容と取組姿勢について取りまとめたものです。

基本目標 市民の課題解決や暮らしに役立つ情報を提供し、積極的な図書館サービスを展開します。

目標1 利用者にとって、より便利で快適な図書館を目指します。 *評価の基準についてはP11を参照

| 項目 | 具体的取組 (達成時期) | 達成状況 (平成19年3月31日現在) |
|--|---|--|
| 身近な公共施設での図書 の貸出・返却の試行 評価 C | ●区役所と連携し、試行実施している行政サービスコーナーや地区センターなどでの図書取次サービスについて、事業を検証します。(12月、中央図書館) 【実施事業】 ■青葉区・市が尾駅、青葉台駅、たまプラーザ駅に返却ポストを設置(本の返却) ■青葉区・奈良地区センター(1か所)、旭区・戸塚区の行政サービスコーナー(各1か所)で本の取次 | 関係区と連携・調整のうえ、順調に事業を実施することができました。開始以来、利用者からは好評を得ており、図書サービスの向上に寄与していますが、図書搬送等の維持経費が掛かるため、引き続き次年度も費用対効果などを検証します。 |
| 利用者アンケートの実施 評価 B | ●来館者を対象としたアンケートを行い、利用者のニーズの把握に努めます。また、その結果を公表します。(9月、全部の図書館) | 5月に全図書館でアンケート調査を行い、3,884人から回答をいただきました。集計結果は、10月に各図書館及び図書館ホームページで公開しました。結果については活用していきます。 |
| 利用環境の改善 評価 C | ①障害のある方のための「コミュニケーション支援ボード」を作成し、利用のバリアフリー化に努めます。(12月、中央図書館) ②多言語での利用案内・館内案内を作成します。(12月、中央図書館) | 平成19年7月中に各図書館の窓口に備える予定です。 本年度は、簡易筆談器の使用、補助犬シールの表示を行いました。 英語・ハングル・中国語〔簡体字／繁体字〕・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語の利用案内を作成し、平成19年3月から各図書館で配布しています。 |
| 公共情報端末の設置の試行 評価 B | ●地域図書館で、利用者が自由にインターネット情報を閲覧できる公共情報端末を設置します。(12月、地域図書館5館で実施) | 平成19年1月に旭、金沢、栄、都筑、緑の各地域図書館にインターネット端末を設置しました。 |
| 安全で快適な環境づくり ISO14001:企業や自治体などが行う事業活動が環境にあたる影響を、組織的かつ継続的に削減するための管理システムを定めた国際規格のこと。 ESCO事業:今までの環境を低下させることなく省エネルギー対策を行い、その結果得られる省エネルギー効果を保証する事業です。削減したエネルギー額の一部からESCOサービス料に充てます。 評価 B | ①ISO14001の取組を進めます。(通年、全部の図書館) ②利用者のマナーが向上するように働きかけを行います。(通年、全部の図書館) ③中央図書館におけるESCO事業の実施を検討します。(12月、中央図書館) ④戸塚図書館の耐震工事等を進めます。(12月から実施、戸塚図書館) | 職員に対し必要な研修を実施し、ISO14001に取り組んでいます。 カウンターでの声かけやマナー向上のためのポスター掲出等を実施しました。 10月から11月にかけて、全館で「特別展示 本が泣いています。」を開催し、マナー向上を訴えました。 平成19年度に工事を行い、平成20年度からESCO事業を開始します。 平成19年1月から工事を実施しています。 7月19日までの休館中は、仮設窓口で予約図書の受取を中心としたサービスを行っています。 |
| 収集基準の公開 評価 B | ●図書館資料の収集基準を図書館ホームページ等で公開します。(12月、中央図書館) | 図書館資料の収集基準を平成19年1月に図書館ホームページで公開しました。 |

目標2 市民の調査研究を支援するとともに、図書館からの情報発信に努めます。

| 項目 | 具体的取組 (達成時期) | 達成状況 (平成19年3月31日現在) |
|---|--|--|
| 図書館ホームページの充実 評価 B コンテンツ:データベースに蓄積されたデータや画像・音声データなどの内容・中身のこと。 | ①コンテンツの充実などを通じて、図書館ホームページによる情報発信を積極的に行います。(12月、全部の図書館) ②子ども向けホームページを開設します。(12月、中央図書館) | 子どもの本を紹介する「読んでみよう、こんな本」の新設や、テーマリスト・レファレンス事例集の充実、講座等のイベント案内など、ホームページを利用した情報発信を積極的に行いました。 引き続き、子ども向けホームページの開設に向け、準備を進めます。 |
| 企画事業の実施  バックヤード見学会 評価 A | ①図書館の機能や所蔵コレクションの紹介を目的に、中央図書館で見学会を開催します。(年3回実施) ②中央図書館1階展示フロアを活用し、地域情報や市政情報の展示・公開を行います。(12月) ③各図書館で教科書展示会を開催します。(6月～7月、全部の図書館) | 「図書館バックヤード見学会」を開催(7月15日、8月5日、11月3日)しました。延べ193人の参加がありました。 7件の展示会を開催しました。 6月7日～7月3日に延べ156日間展示し、期間中に合計2,297人の閲覧者がありました。 |
| 外国人市民へのサービスの向上 評価 C | ●ハングル・中国語の資料のパソコンによる検索を検討します。(12月、中央図書館) | 平成19年度からの検索開始に向け、準備を進めています。 |
| ビジネス支援の強化 評価 B | ●ビジネス関連情報の充実に努めます。(通年、中央図書館) | 平成19年3月に中央図書館4階のビジネス資料コーナーを拡充しました。 平成19年3月に図書館ホームページの資料目録「会社録・名鑑一覧」を更新しました。 |
| 市民の調査研究への支援 評価 C レファレンス:利用者の調べものや資料の相談などに対し、必要とする図書館資料の紹介や提供、情報入手の手助けを行うこと。 | ①Eメールでのレファレンスを引き続き進めます。(通年、中央図書館) ②ホームページで公開しているレファレンス事例集をさらに充実させます。(通年、中央図書館) ③市民を対象に初心者向けの情報検索講座を開催します。(12月、中央図書館) ④市立大学との図書相互利用を進めます。(12月、中央図書館) | 平成18年度受付件数は662件でした。 ホームページのレファレンス事例集に6月から毎月1件ずつ事例を追加しています。平成19年3月現在、12件の事例を掲出しています。 初級者向け講座「いろは塾」を10～11月に開催しました。 所蔵資料の相互利用について、課題を整理しました。 |
| 行政への支援 評価 B | ●市政の業務遂行に必要な資料・情報を提供することで、行政サービス向上のための支援を行います。(通年、中央図書館) | 平成18年度は、810件の資料情報を提供しました。(所蔵調査 580件/事項調査 230件) |
| 課題解決に役立つ情報の提供 評価 B | ●インターネット上の情報を積極的に収集し、使いやすい形にして提供します。(通年、中央図書館) | インターネットの情報を取り扱う「情報検索講座」を開催しました。 資料目録、レファレンス事例集を更新しました。「いじめ」問題に関する資料集を掲載しました。 |
| 横浜関連資料の収集・保存・活用 評価 B | ①行政資料や郷土資料のほか地域情報の収集に努め、市民が必要とする情報を提供します。(通年、全部の図書館) ②文化財課と連携し、郷土資料等の企画展示を実施します。(年度内、5館で実施) | 市内大学の資料を収集・配布しました。また、10月に中央図書館1階展示コーナーで「よこはま学☆遊フェア」を開催し、市内大学の紹介を行いました。 一部の地域図書館で、郷土の資料や写真を展示しました。 中央図書館、栄図書館、金沢図書館、磯子図書館、泉図書館、港南図書館で開催しました。 |
| 開港150周年事業に向けた取組み 評価 B | ●所蔵している開港当時の歴史資料を公開します。(年度内、中央図書館) | 開港当時の歴史資料を「見立番付の世界」で展示しました。(12月) |

目標3 学校など図書館以外の機関・団体との連携・支援に努め、子どもの読書活動の推進を図ります。

| 項目 | 具体的取組 (達成時期) | 達成状況 (平成19年3月31日現在) |
|------------------------------------|--|---|
| 子どもの読書活動の推進 評価 B | ①「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の活性化に努めます。(通年、全部の図書館) (学校図書館支援/図書リストの作成・配付/おはなし会の充実/読み聞かせボランティア支援等) | 全図書館ではおはなし会を実施しました。市民ボランティアによるおはなし会を7館(読書フェスティバル実施分を含む)で実施しました。12館で、「一日図書館員」等の業務体験や幼稚園からの見学受入等児童を対象とした事業を行いました。11月25日・26日「読書フェスティバル」を実施しました。市民との協働事業として「本の世界をひろげよう読み聞かせボランティアハンドブック」を編集・発行し、各図書館で配布しました。学校における読み聞かせボランティア、学校図書館整備ボランティア対象の研修会に講師として司書を派遣しました。 |
| | ②子どもの読書活動を推進するため、読書記録カードを配布します。(12月、全部の図書館) | 平成19年度に、学校教育の場で実施が予定されています。 |
| | ③福祉保健センターと連携して、乳幼児向けのおはなし会を実施します。(通年、一部の図書館) | 鶴見図書館(36回実施、延べ1,232組参加)、磯子図書館(24回実施、延べ1,354組参加)で実施しました。 |
| ボランティアの養成・支援、市民との協働 評価 C | ①読み聞かせ等ボランティア養成講座を6回実施します。(12月、一部の図書館) | 7図書館を会場に、読み聞かせ等ボランティア養成講座を実施しました。中央図書館で、ボランティアのための図書修理講座を実施しました。 |
| | ②読み聞かせ等ボランティア交流会を6館で開催します。(12月、一部の図書館) | ボランティア交流会を5館で5回実施し、延べ106人の参加がありました。 |
| | ③図書館におけるボランティア活動の範囲の拡充を検討し、モデル的に実施します。(12月、一部の図書館) | プロジェクトチームを設置し検討しました。引き続き、実施に向け課題を整理していきます。 |
| | ④市内の読み聞かせボランティアグループに講師として司書を派遣します。(通年、一部の図書館) | 8館で13回派遣。受講者は延べ207人いました。 |
| 学校教育への支援 評価 B | ①司書教諭向けの研修会を開催します。(12月、中央図書館) | 学校図書館研究会等で行われる学校図書館担当教諭の研修に司書を講師として派遣しました。(14館で23回実施) |
| | ②学校図書館向けの新刊情報を提供します。(12月、中央図書館) | 学校図書館向け資料譲渡会会場において、新刊図書評価で評価の高かった本を展示・紹介し、あわせて図書リストを配布しました。 |
| | ③平成17年度に開始した教職員向け貸出制度の普及に努めます。(通年、中央図書館) | 夏季学校図書館研修会をはじめ、学校図書館担当教諭の研修会等で積極的に案内を配布、利用を促しました。 |
| | ④児童・生徒の図書館見学、職業体験に協力します。(通年、全部の図書館) | 図書館見学と職業体験で、延べ6,926人の小中学校の児童・生徒を受け入れました。 |
| 家庭教育への支援 評価 B | ●親子で参加できる講座を開催し、幼児を持つ保護者の読書活動を支援します。(年度内、一部の図書館) | 親子の科学講座を10月に開催し、14組32人の参加がありました。 |
| 保育園・幼稚園への支援 評価 C | ①保育園・幼稚園等の乳幼児向け図書の購入選定を支援します。(年度内、中央図書館) | 図書の選定を行いました。 |
| | ②保育園・幼稚園への図書貸出について検討します。(年度内、中央図書館) | 引き続き、検討していきます。 |

目標4 図書館スタッフのレベルアップを行うとともに、これからの図書館を視野においた取り組みを進めます。

| 項目 | 具体的取組 (達成時期) | 達成状況 (平成19年3月31日現在) |
|-----------------------------|--|---|
| 「横浜市立図書館のあり方懇談会」の設置 評価 B | ●有識者等で構成する「図書館のあり方懇談会」を設置し、図書館経営や図書館サービスのあり方等について検討します。(年度内、中央図書館) | 学識経験者や市民代表などを委員とする「横浜市立図書館のあり方懇談会」を設置しました。10月から3月まで、5回の会議を開催し、意見の聴取及び検討を行いました。来年度も、引き続き開催します。 |
| 窓口対応の向上 評価 C | ●利用者へのあいさつ・声かけを励行し、親切・ていねいな対応に努めます。(通年、全部の図書館) | 朝の打合せ会や各種ミーティング等の機会を捉えて、意識の向上を図りました。利用者アンケートの結果、94%の方々が満足と答えています。引き続き、窓口対応の向上に努めます。 |
| 職員の資質の向上 評価 B | ●利用者の要望等に十分に答えられるよう専門研修を実施します。(通年、中央図書館) | 採用後1年から3年までの職員(17人)に対しフォローアップ研修を実施、中堅以上の職員は主に専門分野に関する外部研修に延べ104人を派遣しました。また、地域図書館のホームページ充実のため、運営担当者17人に対しホームページ作成研修を行いました。 |
| 効率的な図書館運営と財源確保 評価 C | ●管理運営経費の節減に努めるとともに、広告事業等により自主財源の確保を図ります。(通年、全部の図書館) | 効率的な施設管理については冷暖房の温度設定を工夫して、電気代の節減を行いました。図書館ホームページのバナー広告掲載、図書貸出票裏面への広告掲載を実施しました。また、新たに紙芝居用貸出袋に広告を掲載したほか、11月から13図書館に大学案内パンフレットラックを設置しました。 |

■取組の評価

※評価は図書館の内部評価です。

| 段階 | 内容 |
|----|--|
| A | 優れた取組が多く、十分成果が上がっている |
| B | 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている |
| C | 一定の成果は上がっているが、課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある |
| D | 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である |
| E | 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である |